



ひだか川



議会だより

No. 23

平成23年8月1日発行

発行／日高川町議会

住所 和歌山県日高郡日高川町土生160番地
TEL. 0738-22-9504
FAX. 0738-22-2093
E-mail: gikal@town.hidakagawa.lg.jp



鷺の川の滝

6月定例議会

紙面のご案内

- こんなこと決まりました…………… 2
- こんな問答ありました…………… 4
- 一般質問…………… 6
- 委員会町内視察レポート……………17
- 特別委員会報告……………18

補正をしたものです。

(賛成全員)

●平成23年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ207万6千円を増額し、予算総額13億5257万6千円とするものです。

出納閉鎖にあたり、川辺国保会計で207万6千円の不足が生じたことから、平成23年度予算から繰上充用し、その財源は国保組合解散に伴う清算金を充てるものです。

(賛成全員)

●平成23年度一般会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ1億610万8千円を増額し、予算総額89億6810万8千円とするものです。

補正の主な内容は、指定管理者に対する管理料1億200万円、またそれに伴うふるさと振興公社への委託料の減額4100万円、同じく公民館費の減額380万円、か

わべ天文公園管理費の減額1165万3千円等です。

(賛成多数)

●平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

歳入歳出それぞれ40万5千円を増額し、予算総額2億3840万5千円とするものです。

補正の内容は、1日人間ドックの受診希望者が増加したことによるものです。

(賛成全員)

●日高川町議会議員定数条例の制定

地方自治法(昭和22年法律第67号)第91条第1項の規定に基づき、日高川町議会の議員の定数を12名とするものです。

なお、施行期日は公布の日から施行し、同日以後初めてその期日を告示される一般選挙から適用されます。

(賛成多数)



こんな問答がありました

問 公の施設に係る指定管理者の指定の取り消しについて及び、公の施設に係る指定管理者の指定について

答 教育に係る観星塔

やプラネタリウムといった施設を町管理から民間委託に含めてしまうのはなぜか。

答 天文公園を効率的に運営するには、集客が課題となる。待ちの姿勢から民間へ委託することで集客をはかる方がベストと考えた。

問 公社の設立目的・運営方針が、民間への委託によって、コスト削減や利用者数アップ、利益の追求に変わってしまうのではないか。

答 町の施設を民間の

管理に移行しても、行政がチェックしていく。公社の理念が達成できるように、民間会社のノウハウを活かして町に貢献してもらおう。

問 3年間で共立メンテナンスの構想どおりいかなかった場合、次期の指定管理はどうするのか。

答 毎年、当初の改善計画に基づいて、そのとおり推移していくのかを注視していく。再度継続するのか、新たに公募するのかを3年後判断する。

問 施設の補修はどうするのか。

答 修繕については、30万円以下は指定管理者が実施する。それを超えるものは町と協議して決定する。

問 民間に指定管理を移しても、住民に運営状況を公開し、意見交換できる機関が必要ではないのか。

答 議会、あるいは住民には予算、決算で公表できる。経営内容も報告する体系を維持したい。

問 ふるさと振興公社の運営主体はどうなるのか。

答 バイオセンターと産品加工所、ジビエ工房という農林関係、産業振興関連施設が運営の主体となる。農業、林業とい



中津荘

問 民間に指定管理を移しても、住民に運営状況を公開し、意見交換できる機関が必要ではないのか。

答 議会、あるいは住民には予算、決算で公表できる。経営内容も報告する体系を維持したい。

問 ふるさと振興公社の運営主体はどうなるのか。

答 バイオセンターと産品加工所、ジビエ工房という農林関係、産業振興関連施設が運営の主体となる。農業、林業とい

った一次産業に精通した方々に理事、評議員に就任をお願いし構成していく。

問 今後、ふるさと振興公社が管理する3つの施設で、黒字が出てくる可能性はある。財団法人として問題はないのか。

答 公社は収益を求めらるものではない。仮に赤字になってきた場合、平成25年には財団法人の見直しもあるので、その段階で検討しなければなら

町長及び副町長の給与等に関する条例の一部を改正する条例について

問 町長自身の件で、専決処分や臨時議会での提案も考えられたが、今定例会となった理由は。

答 6月議会で上程したい旨、全員協議会で説明している。

問 給与10分の2を1ヵ月減額ほどの程度の処分になるのか。

答 近隣では一番重い処分の一つと判断した。

問 比較ではなく、規定の中ではどうか。

答 今の時点で処分の基準はなく、近隣と比較した。

問 責任の取り方として「1ヵ月」より長い期間は考えられなかったか。

答 重い処分であることに理解いただきたい。全員協議会でも説明した。

平成22年度一般会計補正予算

問 3月確定分として今回も2億2300万円余り補正され、財政調整基金に積み立てられている特別交付税について、もう少し早い段階で予算計上し、当年度の事業に使用しないのか。

答 3月の定例会の時点では3月交付分の最終的な特別交付税の額が、決定出来ない事情がある。本年度の総額のうち5億円分については既に一般財源として充当している。

問 社会福祉協議会助成金200万円の減額理由は。

答 臨時職員退職に伴い人件費が減ったことによるものである。

問 子供医療費858万円の減額理由は。

答 乳幼児医療、子供医療ともに22年度実績が予算額を下回り、今回不用額として減額補正した。



南山スポーツ公園

平成23年度一般会計補正予算(第1号)

問 双眼鏡の購入目的は。

答 来年度秋、星空の町全国大会の誘致を計画している。ほぼ確定の状況になってきた。

問 この大会は環境問題を取り上げている。子どもたちに、双眼鏡を使って星の透視をさせ、環境の汚染度、公害の状況を実際に調査してもら

うのが大会のメニューになっている。

問 町内の小、中学校に協力を得て、天文公園とセツトに勉強会を催していきたい。20台購入する。

問 ジビエ推進で常勤作業員を雇用するようだが、船津と猪谷の2つの施設の運営と利用の関係はあるのか。

答 食品衛生への対応徹底を推進したい。生肉の販売だけでなく、ハム

等の加工品として販路の拡大をはかりたい。そのための原料の確保を常勤体制で取り組みたい。併せて2ヵ所の加工場の有効活用を高めたい。

問 南山スポーツ公園の整備構想をどのように考えているか。

答 国体でアーチェリー会場となる。この機会に、陸上競技場と野球場をリニューアルしたい。

問 携帯電話の不感地域である国道424号沿いはどのあたりまで解消できるのか。

答 国体の誘致で漕艇場が大会会場となる。国道424号の入り込み客の状況を踏まえた中、ソフトバンクが進出することになった。串本地域周辺がカバーできる。

問 すこやかファイルの印刷製本は、何の目的で何冊分か。

答 子どもの成長記録を成人まで保護者に記録してもらおう簿冊を印刷す

る。成人にいたるまでに病気がかかった場合、そのファイルを基に保健師、医師が支援、対応していくのに活用していく。

問 今回、御坊保健所が管轄する圏域で同じものを作っていく。全額県費で作成する。本町が代表して作成する。全体で400部印刷する。

平成23年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

問 人間ドックの関係で増額補正されているが、推奨する考えは。

答 当初予定10名に対し、受診希望が25名となったことに伴う補正である。全てを人間ドックに移行となると経費もかかるため、どちらを受診するかは個々の判断に委ね、意図的に人間ドックにシフトさせる考えは持っていない。